

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

ヒヤリハット事例

事故内容	第8号車の三連はしごを修理・調整中、2～3m伸梯した状態で掛け金が確実に掛かっておらず、さらに隊員が横さんを握った状態で梯子を起梯したため、二連目が滑り落ち手指を挟んだもの。		
概要及び写真			
発生場所	消防署 ピット室前		
どのような事をしていた	訓練中に不具合の出た三連はしごを修理・調整中に発生した。		
どのような事が起きた	はしごを起こし縮梯しようとした際に、二連目が滑り落ち手指を挟んだもの。		
考えられる原因	掛け金確認の不履行及び集中力の欠如。		
考えられる対策	訓練以外の場面であっても、資器材には常に危険要素が孕んでいるものと認識し、操法どおり慎重に取り扱う。特に、今回の事案は一步間違えると重大な怪我に繋がることから、掛け金確認ははしごを扱う2名で確実に行う。		
作成年月日	平成 19年 5月 26日	作成所属	